



おたのしみだより

令和5年7月11日(火) NO. 2

共に学び 共に語り合おう 幼保こども園・小のなめらかな接続のために

今年度は、夏休みに「園参観と語る会」と「学習会」を開催します。連続性・一貫性のある幼年期教育の在り方について話し合う貴重な機会です。幼保こども園と小学校のそれぞれの活動について知ったり、今日的な課題について話し合ったりするチャンスです。年長児や低学年の先生に限らず、多くの先生方に参加していただき、共に幼年期教育について学びながら、参加者それぞれの立場から子どもたちの様子や困り感、コロナ禍における課題、今後の連携について、思う存分に語り合しましょう。

「童浦こども園参観と語る会」

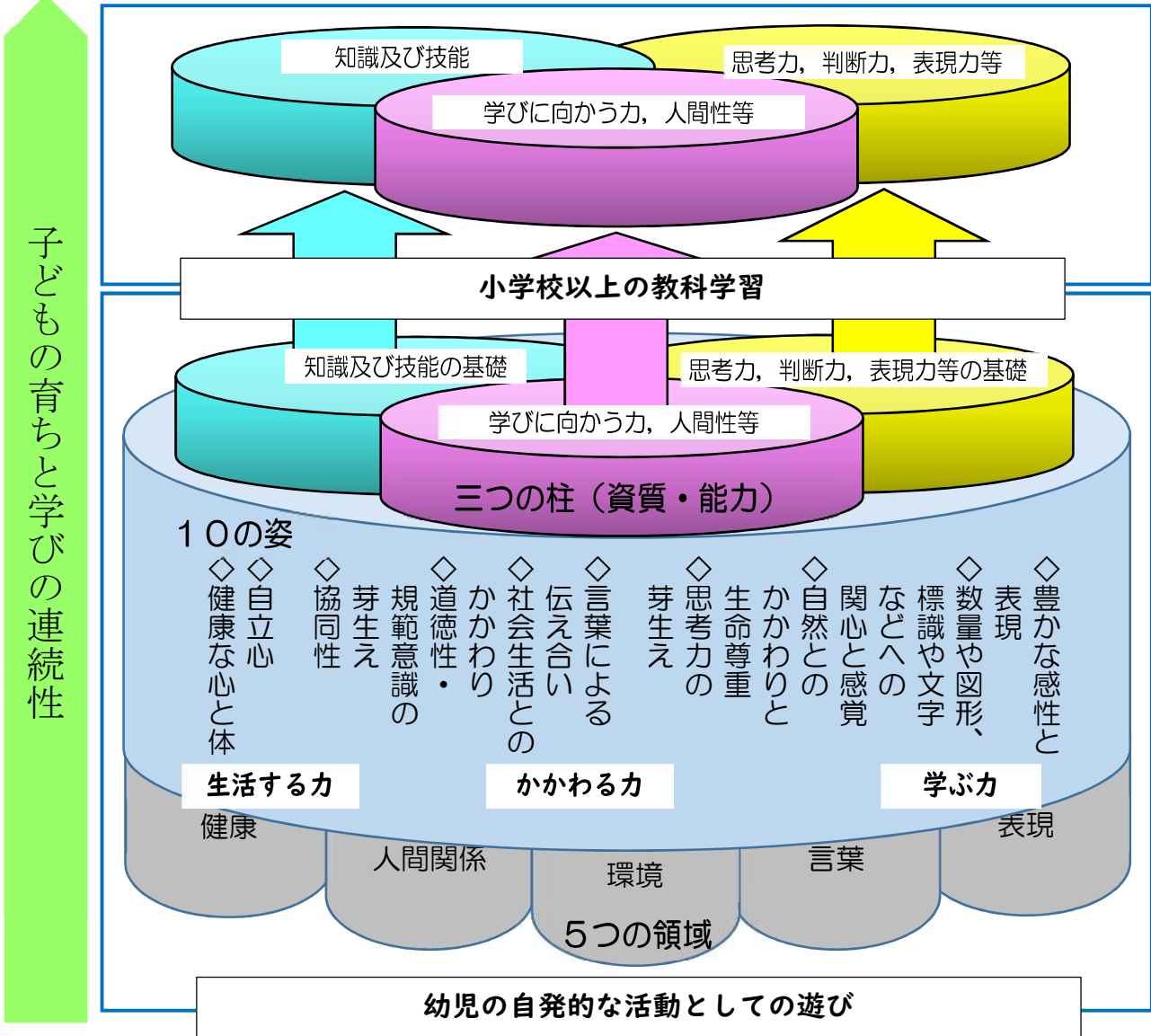
- 日時 令和5年7月25日(火) 9:20~11:30 (9:00~受付)
- 会場 ◇認定こども園 童浦こども園 田原市片浜町前畑79番地1
- 日程
- ・受付 9:00~ 9:20
 - ・はじめの会 9:20~ 9:35
 - ・保育参観 9:35~10:10
 - ・語る会 10:15~11:15
 - ・終わりの会 11:15~11:30
- ※終わりの会終了後、アンケート記入
※参加者は上靴と靴を入れる袋、筆記用具を持参する。

「幼年期教育学習会」

- 日時 令和5年8月23日(水) 15:00~16:40 (14:30~受付)
- 会場 ライフポートとよはし(中ホール)
- 講師 名古屋短期大学 保育科 准教授 鳶田 弘子様
- 日程
- ・受付 14:30~15:00
 - ・開会行事 15:00~15:10
 - ・講演 **幼児教育と小学校教育の接続のために** 15:10~16:10
 - ・質疑応答 16:10~16:30
 - ・閉会行事 16:30~16:40
- ※閉会行事終了後、アンケート記入

三つの柱の「基礎」が幼児期に培われる

学習指導要領では、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続の重要性が示されています。特に、小学校低学年は、幼児期の教育を通じて身につけたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、子どもの資質・能力を伸ばしていく時期です。そこで、三つの柱から構成される資質・能力が幼児期の教育から小学校教育へとどのように接続されているのかがわかるように図に整理しました。子どもの育ちや学びをつなぐために、先生方が子どもの理解を深め、子どもが安心して活動できる教育の場についてあらためて考える機会になればと思います。



幼児期には子どもの発達、興味や関心等を踏まえた活動を展開しながら、「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱から構成される資質・能力が一体的に育まれ、その後の小学校教育における生活や学習の基盤となります。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、園や小学校の教師が子どもの成長を共有し、幼児期から児童期への育ちや学びのつながりを理解することが大切です。

